

紹介受診重点医療機関の選定に係る意向調査票

1 対象医療機関について

医療機関名	一般財団法人宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター
協議対象とした理由	既に紹介受診重点医療機関として公表されており、 令和6年度外来機能報告において基準を満たさず、意向がある

2 対象医療機関から報告があった内容をまとめたもの

(1) 基準を満たさなかった理由

初診における医療資源を重点的に活用する外来（重点外来）の割合が令和3年度41.1%→令和4年度35.8%→令和5年度35.6%となっておりますが、冠動脈CT、心臓MRIなど高額の医療機器を使用した外来診療は実際には伸びているのですが、これらの画像診断は予約制であることや、事前説明等の準備があることから、診察日とは別日の検査となってしまう、重点外来の件数にカウントされないケースが多いため、データ上、重点外来の割合を満たせませんでした。

(2) 紹介受診重点医療機関を継続することによる自院への影響

循環器疾患専門病院として今後も地域で診療を継続する方針ですが、医師の働き方改革もあり、診療の比重を地域でのニーズが高い救急、入院医療に集中させる必要があると考えています。紹介受診重点医療機関として継続していくことで慢性期はかかりつけの先生方に治療をお願いし、状態悪化時や専門的な精査が必要な際は当院へという地域の医療の役割分担が明確となり、患者への説明の負担も軽減し結果的に医師のリソースを有効に活用することにつながり、患者さんに最適な医療を提供できることになると考えられます。

(3) 紹介受診重点医療機関を継続することによる地域への影響

当院が紹介受診重点医療機関を継続して地域での役割分担を明確化することで、慢性期はかかりつけ医を、増悪時等は当院を利用するという使い分けを患者さんに受入れていただくことが容易になることが期待されます。当院が紹介受診重点医療機関を継続することで地域の他の医療機関の負担が増えることはないものと思われます。

(4) 今後の基準達成の見込み

CT、MRI等については地域の先生方に利用してもらえるよう積極的に広報活動を行っており、令和5年度はCTが4,700件、MRIは400件をそれぞれ超える実績を上げています。紹介率につきましては、引き続き当院の診療内容をかかりつけの先生方に案内して改善を図ります。

ただし、上記の通り200床未満である当院は、選定療養費徴収による紹介受診への誘導ができない点をご勘案いただき、努力目標として継続的な取り組みを行っていくことでご理解を賜りたい意向です。

(5) 次年度以降における意向継続の予定

循環器内科、心臓血管外科の医師のリソースには限りがあります。働き方改革も見据え、診療の比重を専門的な初診、救急診療、入院診療に集中させる必要があります。よって、調整会議のご理解がいただけましたら当院としては今後も紹介受診重点医療機関の役割を地域で担わせていただければと考えております。

(6) その他補足事項等

—

(参考：医療機関からの報告値)

区 分	紹介受診重点外来の割合等 (日数の母数は初診・再診 外来患者延べ日数)		紹介率	逆紹介率
	初診	再診		
報告値	35.6%	26.3%	32.6%	75.0%
医療資源を重点的に活用する入院前後の外来	253日/6,653日	2,871日/31,057日	—	—
高額等の医療機器・設備を必要とする外来	1,275日/6,653日	5,147日/31,057日	—	—
特定の領域に特化した機能を有する外来	1,430日/6,653日	857日/31,057日	—	—
基準値	40%以上	25%以上	50%以上	40%以上

基準

参考水準

※ 「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来」、「高額等の医療機器・設備を必要とする外来」、「特定の領域に特化した機能を有する外来」の各項目については個別の延べ数を計上しているため、報告値の割合と、3項目から算出される割合を合計した数値は一致しません。